

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度 第1回公民館運営審議会
開 催 日 時	令和5年5月26日(金) 午前9時30分～11時00分
開 催 場 所	市庁舎7階 研修室
出席者の氏名	齋藤 浅男、清野 則良、内野 光男、富川 正孝、山崎 壽男、三原 由紀子、 矢嶋 賢一、高柳 進、浅田 衛、倉持 伸江、田中 雅文
欠席者の氏名	生野 元、佐藤 良一、加藤 市男 ※吉川 誠(人事異動により解嘱)
説明者の職・氏名	
議 事	(1) 答申について (2) その他
会 議 資 料	資料1 答申 資料2 令和4年度公民館事業報告集の101ページと109ページ
担 当 部 課 名	教育長 中島 秀行、教育総務部長 千葉 裕之、 松井公民館長 吉川 泰央、富岡公民館長 粕谷 紀夫、 小手指公民館長 小川 和彦、山口公民館長 粕谷 広和、 吾妻公民館長 深谷 康博、柳瀬公民館長 荒井 直樹、 三ヶ島公民館長 村中 慎児、新所沢公民館長 廣谷 貴紀、 新所沢東公民館長 新井 浩巖、中央公民館長 金子 敦、 並木公民館長 川原 利和、社会教育担当参事 糟谷 苗美、 社会教育課主査 和田 順子、主査 有沢 法夫、主査 佐瀬 秀夫 教育総務部社会教育課 電話 04(2998)9242

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>【1 開会】 社会教育担当参事の司会により開会した。</p> <p>【2 教育長あいさつ】 《教育長あいさつ》 《新任館長（6名）及び新任事務局職員による自己紹介》</p> <p>【3 議事（1）専門部会の審議経過報告】 傍聴者（4名のうち1名は途中入室）の入室後、議事に入った。</p>
委員長	議事（1）について、専門部会長である副委員長から説明いただきたい。
副委員長	（資料1の内容を説明）
委員長	説明を踏まえ、軽微な修正等あるか。
委員	市議会だよりで、ある党から「公民館の果たすべき機能の継続」という質問に教育長が答えている。その中に「リスキリング」というキーワードが出てくる。答申に入れた方がいいのでは。
副委員長	「リスキリング」や「リカレント」といった学び直しについて今、話題になっている。公民館事業においては、全ての世代を対象にした事業を行っている。とりわけ今回の答申では、子どもや若い世代の学びを促進してほしいということを含んでいる。キーワードはないが、内容的に含んでいるとご理解いただきたい。
教育長	全国の教育長会に出席した際、静岡の藤枝市が市民大学について提案していた。新しい仕事にチャレンジしたいというリスキング、資格取得を目的とした講座を市民大学に入れていき（リカレント教育）、若い人を呼び込む手法にするという提案だった。公民館だけではなく社会教育全体でそういう手法を使いながら、現役世代も巻き込んでいくことは将来できると思っている。社会教育全体で考えていきたい。委員のご意見はしっかり受け止め対応する。キーワードが答申にないからといって考えない、ということではない。
委員長	今回の答申に文言を入れなくとも、内容については十分含まれているという理解でお願いしたい。

	《委員長から教育長へ答申》
教育長	皆様のお気持ちをしっかり受け止める。
事務局	答申に関わらず、審議会に参加してみでの感想等一人ずつお願いしたい。
委員	子育て期の9年間、所沢に住んでいた。子ども会活動の支援等をしていた。所沢の公民館には、是非いい形で子どもから大人まで皆で利用し、地域づくりの拠点であり続けてほしい。一元化後も公民館の機能は法制度上きちんと担保しながらいくことが必要。答申の中に明記できたと思う。今後、一元化したからこんなに公民館が良くなった、と全国に先駆けて所沢市が見せていってほしい。
委員	利用者として多少公民館に関わっていたが、委員になって大変勉強になった。今後答申をどう活かしていくのか利用者として見ていきたい。
委員	新所沢東公民館にエレベーターがつくことを他の地域の人にも応援してくれた。公民館活動・事業は、地域や学校との連携、地域ネットワーク作りが必要。自分は所沢市の自治連合会の事務局長だが、地区の会議に呼ばれたことがない。もっとオープンにしようではないか。公民館をもっと地域のために活かしてもらいたい。今後も地道な活動をし、地区で皆と頑張っていく。
委員	出した答申に対する今後の進め方はどうなるのか。審議会に報告してもらえたらありがたい。
委員長	ここがスタート。皆さんと一緒に新しい公民館、まちづくりセンターを考えていこうということで文書にした。行政はもとより、皆さんと一緒に知恵を絞っていけたらいい。これがヒントになって、明文化したことで進んでいける。
教育長	答申を受け、我々がどうやってその内容に沿って実現していくかが大事。その結果については教育委員会でも報告し、質問にも答えていく。この答申が柱になっていくであろう。答申は市民や議員も読む。多くの目がある。この答申を重く受け止める。是非注視していただきたい。
事務局	答申を受け一元化を進めていく。その過程の中できちんと審議会委員の皆様には報告する。
委員	中央地区は、12町内会で個々に自治会としての公民館を持っている。12名の館長の会議が毎月1回行われるが、館長として公民館をどうするかが現状

	<p>の悩み。答申を参考にしながら、協議会で議論しながら、所沢まちづくりセンターの運営をサポートしていきたい。</p>
委員	<p>委員になって、大変勉強になった。市民の声を聴く会では幅広い意見が聞けて良かった。</p>
委員	<p>誘われて専門部会の委員になった。様々な資料を読みながら参加し、所沢市はどうあるべきなのか、という事にほんの少し参加できたように思う。答申を受けて、我々もどう見守っていくか、実施する方は何をどのようにしたら答申の内容が達成できるのかを、公民館の報告書に入れると分かりやすいのではないかと。</p>
委員	<p>現役時代は地区の活動について知らなかった。講座に参加したのが、公民館と関わるきっかけだった。委員になって、利用者側と審議する側との両方を経験できて良かった。</p>
委員	<p>答申の内容はほぼ問題ないと思う。管理権限の一元化について、ピンとこない所がある。自分はまちづくり協議会の文化・スポーツを担当している。その中でセンター長とは話ができています。「つどう・まなぶ・むすぶ」がじっくりいけばまちづくりセンターがこれからも発展していくのではないかと。担当同士の交代が必要。その機会を多く作っていくことが大切。</p>
事務局	<p>欠席委員（生野委員・加藤委員）からの感想を代読</p>
副委員長	<p>皆様の様々な意見をいただき、スタートとなる答申をまとめることができました。これまでの公民館運営審議会で議論してきたことや所沢市の公民館が積み上げてきたものと、今直面していることを、ここで改めて整理して次に向かってどうしていくべきかをまとめることができました。専門部会でまとめた答申が絵に描いた餅にならないように、各センター、各公民館において出来るところから着実に、また社会教育全体として進行していってほしい。また、公民館運営審議会や、公民館に携わる私達がそれを横に広げて、私たちのできる役割を宿題として取り組んでいくことも大事。社会教育＝公民館の答申なので、私たちが主体性を持って、それを実現するためにそれぞれが力を発揮していく、新しいことに挑戦していくことが大事。次期委員には、監督しつつ実現していただくことを引き継ぎたい。</p>
委員長	<p>今期の公民館運営審議会は、一元化についての議論に終始した感がある。コロナ禍で公民館事業が減少・延期された分、かえってこの議論に時間がさけた。市民の声を聴く会、各館の運営委員会、利用者の会等から様々な意見を頂けて、</p>

	<p>心強く答申の議論ができた。専門部会を立ち上げ、4回の部会で議論を重ね、頂いた意見をどのように盛り込んでいくのか、専門の先生のお力を借り、部会でかなり揉んで答申を作成した。教育長から、答申を柱に、という話があったとおり、出して終わりではなく、行政・各館・我々と知恵を出し合いながらやっていきたい。所沢市は11行政区すべてに公民館がある。まちづくり協議会や町会連合会等様々な組織が活動している。その人達が手を携えることも大事。公民館事業に色々な人が協力できる。開かれたところで協力して、色々なことをしながら色々な知恵が出てくる。より良くなるように、これがあって良かったよね、と言えるように皆で頑張っていきたい。</p>
委員	<p>教育長に答申を受け取ってもらって有難い。教育委員の会議で報告する場があると、委員にも意識してもらい一緒に進める力になると思うが。</p>
事務局	<p>教育委員会の定例会できちんと報告する。</p>
	<p>《副委員長、所用にて退席》</p>
委員長	<p>社会教育委員の小沢議長が興味を持たれている。意見ももらい反映させているので、丁寧に報告したい。</p>
事務局	<p>教育委員だけでなく社会教育委員にもしっかりと報告する。</p>
	<p>【3 議事（2）その他】 事務局から2点の報告を行った</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和4年度公民館事業報告集について 2. 令和5年度公民館の改修工事について
事務局	<p>【4 閉会】</p>